

西鉄天神大牟田線（春日原～下大利）連続立体交差事業計画検証委員会について

西鉄天神大牟田線（春日原～下大利）連続立体交差事業について、令和2年度に高架切替、令和3年度完了を予定していましたが、令和元年10月末、西日本鉄道株式会社（西鉄）から、やむを得ない理由により工期変更が必要になったとして、事業計画の変更に係る協議の申出がありました。

本事業の目的に鑑み、工期変更は県民生活に大きな影響を及ぼすことから、学識経験者を交えた「西鉄天神大牟田線（春日原～下大利）連続立体交差事業計画検証委員会」を設置し、令和2年3月31日まで全5回の議論を行い、令和2年4月10日、委員会から県に対し、その報告書が提出されました。

委員会の概要

(1) 目的

工期変更の理由及び期間について検証するとともに、工期短縮を検討する。

(2) 委員の構成

別紙1のとおり

(3) 経過

第1回委員会	令和元年11月22日	委員会の設置、西鉄から概要説明
第2回委員会	令和元年12月20日	高架切替前の工程について議論
第3回委員会	令和2年1月28日	高架切替前の工程の一部について、短縮を確認
第4回委員会	令和2年2月26日	高架切替後の工程について議論
第5回委員会	令和2年3月31日	議論のとりまとめ

(4) 検証結果

① 工期変更

高架切替の時期	：	令和3年3月末	→	令和4年8月末
工事完了の時期	：	令和4年3月末	→	令和6年11月末（春日原駅）
			→	令和6年5月末（白木原駅）
			→	令和4年12月末（下大利駅）

詳細は、別紙2のとおり

② 工期変更の主な事由

<高架切替前>

- 春日原駅のホーム下に想定外のコンクリート等が見つかったが、線路直近の狭小な箇所における深夜の限られた時間のみの施工であり、その撤去作業に相当の時間を要する。
- 上記撤去作業の影響により工程がずれ込み、全国で数台しかない特殊な杭打機が1台しか確保できなくなった。

<高架切替後>

- 安全対策の強化による工法の変更
- 専門技術者の不足

これらはすべてが令和元年度になって浮上したものであり、個々の事情を精査したがいずれも予見が困難であり、工期変更はやむを得ない。

西鉄天神大牟田線（春日原～下大利）連続立体交差事業計画検証委員会の構成員

敬称略

区分	氏名	所属
委員長	山口 栄輝	九州工業大学 教授（構造工学、鋼橋、構造解析）
副委員長	園田 佳巨	九州大学 教授（構造工学、構造解析、衝撃問題）
委員	野瀬 孝行	福岡県 建築都市部 次長
委員	原田 昌宏	福岡県 建築都市部 公園街路課長
委員	堀之内 建司	福岡県 那珂県土整備事務所長
委員	松藤 悟	西日本鉄道(株) 鉄道事業本部 副本部長
委員	青木 忠司	西日本鉄道(株) 鉄道事業本部 施設部長
委員	井口 要	西日本鉄道(株) 鉄道事業本部 施設部 春日原連立工事事務所長

オブザーバー

所属	氏名	役職
福岡市	津野 孝弘	道路下水道局 建設部長
春日市	渡邊 一雄	都市整備部 道路管理課長
大野城市	團野 貴夫	建設環境部 連立・高架下活用推進室長

備考

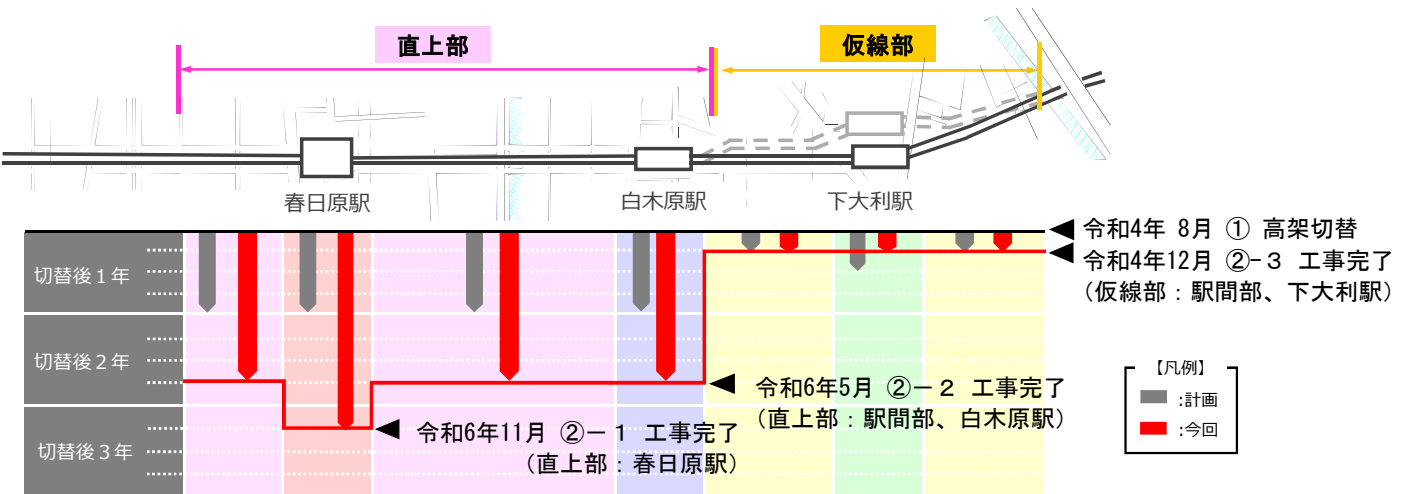
表中の所属及び役職は令和元年11月22日時点のもの

西鉄天神大牟田線(春日原～下大利)連続立体交差事業工期変更について

全体工程表

年度	H23~H30	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
計画	高架工事, 軌道工事, 駅舎工事			令和3年3月 ① 高架切替	令和4年3月 ② 工事完了			
	高架工事, 軌道工事, 駅舎工事 (当初+24か月)							
申出					直上駅間部 春日原駅	高架工事 (切替後 22か月)		
					直上駅間部 白木原駅	高架工事 (切替後 22か月)		
					下大利駅	駅舎撤去 (切替後 7か月)		
					仮線駅間部	撤去 (切替後 4か月)		
							春日原駅 令和6年11月 ②-1 工事完了	
検証結果	高架工事, 軌道工事, 駅舎工事 (当初+17か月)			令和4年8月 ① 高架切替	令和4年12月 ②-3 工事完了			

高架切替後の区間別工程イメージ



工程段階イメージ図

